

情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況

情報公開制度と個人情報保護制度の運用状況をお知らせします

総務課 ☎84-0310

◆平成21年度の情報公開制度運用状況

区分	全部公開	一部公開	非公開	その他	合計
公文書公開請求	2件	5件	0件	0件	7件

◆平成21年度の個人情報保護制度運用状況

開示請求件数	訂正請求件数	是正の申出	合計
0件	0件	0件	0件

情報公開制度とは

町が持っている情報を皆さんからの請求に応じて公開する制度です。公開請求された情報は原則として公開しますが、個人に関する情報など条例で定める非公開情報は公開できないことがあります。

公開請求をする場合は公開請求書の提出が必要となります。

個人情報保護制度とは

町が持っている個人情報を適正に取り扱うためのルールを定めるとともに、本人からの請求に応じて自己情報の開示や訂正などを行う制度です。個人情報を取り扱う町の事務については、事務の名称などを記載した登録簿を作成していますので、閲覧することができます。

開示請求をする場合には開示請求書の提出が必要となります。

県知事の推薦で 公益財団法人・日本生命財団から顕彰されました。(県内で4団体)

～パレットガーデン自治会～ 6月2日横浜市青少年センターにて

町では、介護予防と健康づくりを目的に、オリジナル体操を作り、体操指導員を養成して、地域での普及活動に取り組んでいます。

この度、パレットガーデン自治会福祉部に対し、日本生命財団から「生き生きシニア活動顕彰」が授与されました。

パレットガーデン 自治会福祉部

パレットガーデン自治会は平成19年4月に設立された新しい自治会です。パレットガーデン内で「かいせい・いきいき健康体操」がスタートしたのは自治会設立より早い6年前。体操指導員の赤間道子さんを中心に、毎月2回、20名ほどの皆さんが継続的に健康づくりに励んでいます。

会場のマンション共用棟では、体操以外にも「ふれあいサロン会」として、町と連携しながら口腔機能の向上のための勉強会や、メタボ対策、新型インフルエンザ対策など健康に関する内容を取り入れて活動しています。

6月2日、横浜で行われた



体操をする自治会の方々、皆さん元気です。

贈呈式には、赤間さんと、パレット福祉部の誕生に深く関わった小島自治会顧問が出席しました。

式に出席した小島さんは、「赤間さんはじめ、自治会員皆様のお力で、思いがけないご褒美を頂きました。歴史ある諸団体の皆様の中で、誕生4年という私たちが授与されたのは「がんばりなさい、まだまだですよ」という叱咤激励の意味だと思えます。」と感想を述べてくださいました。

(取材) まちづくり情報特派員・前田

子育てワンポイント

75

◎子どもの日焼け対策について教えてあげよう。

A 以前は子どもの元気のバロメーターとも言われていた日焼けですが、今は過度の日焼けを何十年も繰り返すと皮膚がんの原因になると考えられています。日焼けによる紫外線の影響は蓄積されるため、子どものころからの日焼けはできるだけ避けた方が無難です。特に小さな子どもほど皮膚が薄く紫外線に対する防御機能が弱いので、紫外線の最も強い真夏の午前10時～午後2時ごろの外出は極力控えたほうが良いでしょう。日差しが強い時間帯にお出掛けする時は、つばの広い帽子を着け、通気性や吸水性のよい長そでの衣類が紫外線防止に役立ちます。肌トラブルがない子どもは、子ども用の

日焼け止めクリームをこまめに塗ることをお勧めします。夏の訪れとともに、お出掛けの機会が多くなりますので、日焼け対策を心掛けましょう。



保険健康課

☎84-0327

私

は開成小学校に赴任して2年目になります。今年度は4年生を担当しています。今回は4年生の社会科の学習について紹介します。「安全なくらしとまちづくり」という学習では、交通事故や犯罪、火災などの災害から地域の人たちを守る警察や消防の仕事について学習し、そこで働いている人たちの工夫や努力に気づき、自分も地域社会の一員として努力しようとする気持ちをもつことがねらいです。

消

防の学習では、最初に学校内を調べ、次に町を探検しながら、防火施設について調べました。それらの活動を通して、学校内や開成町にもたくさん防火施設があることに気づくことができ



はしご車を使って人命救助の訓練

5

月下旬に、足柄消防組合西消防署に見学に行きました。消防署では、はしご車で救助の様子や特科訓練を見せていただきました。また消防署内の見学や消防車の説明、119番通報があったらどうなるかなど、教えていただきました。

今109 しポート 「体験学習の大切さ」



開成小学校教諭 山口香奈子

子

どもたちは、初めて見る施設や道具を真剣に見たり、消防士さんの話をしっかり聞いたり、また疑問に思ったことをその場で質問したりしながら、教室の中では学習できない貴重な体験をすることができました。

4

年生の保護者である消防士さんのお話も聞くことができ、さらに消防につ

自

分たちで歩いて防火施設を実際使われている道具を見たり触ったり、働いている人たちの話を聞いたりする体験を通して、子どもたちは、消防の人たちが、自分たちの町や家族、地域の人たちを守ってくれていることに気づくことができました。「防火訓練に参加したい」や「消火器の使い方を知りたい」など、自分のできることをして考えることができ、体験学習の大切さを感じました。

こ

れからも社会科の授業生かした子どもたちの心に残る授業づくりを心がけていきたいと思えます。



西消防署職員による消防車の説明